

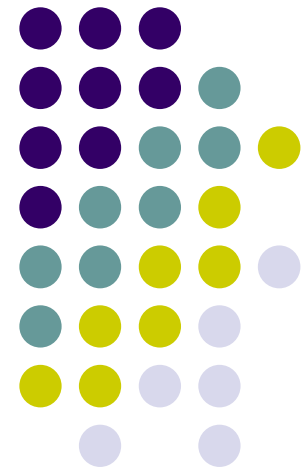
# 2021年3月期決算説明資料

---

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード): 3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 免責事項 ……11

# 会社概要



- 社 名：大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者：大村日出雄
- 設 立：1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金：554,000千円
- 発行済株式総数：4,884千株
- 事 業 内 容：段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部：湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所：会津・レーベル湘南
- 研 究 所：包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会経済活動が抑制され、景気は厳しい状態で推移しました。その後段階的な経済活動の再開も見られたものの変異ウイルス感染拡大により景気に悪影響を及ぼす状態が続いております。
- この様な経済環境の中、当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比99.4%となりました。一方、当社は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて売り上げは大幅に減少しましたが生産性の向上と経費の削減に努めたことと、当事業年度の設備投資を削減・延期したことにより下記の様になりました。
- 段ボールシート48百万㎡(前期比11.4%減)、段ボールケース31百万㎡(前期比5.9%減)となりました。売上高は4,801百万円(前期比8.8%減)となりました。利益面におきましては、経常利益275百万円(前期比14.1%減)となり、当期純利益163百万円(前期比6.5%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



# 業績概要①

売上高の品種別の内訳は次のとおりであります。

段ボールシート	(前期比 22.4%減)
段ボールケース	(前期比 8.4%減)
ラベル	(前期比 0.2%減)
その他	(前期比 10.4%増)

(単位:百万円)

	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)	前期比率
売上高	4,801	5,262	-8.8%
営業利益	270	312	-13.6%
経常利益	275	321	-14.1%
当期純利益	163	153	6.5%
1株当たり当期純利益(円)	34.04	31.96	



## 業績概要②

総資産につきましては、前事業年度末に比べて、91百万円減少しまして、7,507百万円となりました。主な要因は、機械及び装置等の入替により有形固定資産が187百万円、投資有価証券が39百万円増加し、また、現金及び預金が281百万円減少したことによるものであります。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (2021年3月末)	前期末 (2020年3月末)
流動資産	4,938,331	5,238,321
現金及び預金	3,375,809	3,657,244
受取手形	477,857	501,215
売掛金	717,857	711,315
たな卸資産	353,659	358,473
その他流動資産	13,147	10,072
固定資産	2,568,786	2,359,853
有形固定資産	2,285,891	2,098,396
無形固定資産	11,258	11,849
投資その他の資産	271,636	249,608
資産合計	7,507,117	7,598,175

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (2021年3月末)	前期末 (2020年3月末)
流動負債	1,419,733	1,680,648
支払手形	944,709	1,048,579
買掛金	204,365	209,897
未払法人税等	35,140	94,055
その他の流動負債	235,517	328,116
固定負債	614,295	589,156
退職給付引当金	133,463	140,782
役員退職慰労引当金	434,083	431,474
その他	46,749	16,900
負債合計	2,034,028	2,269,805
純資産合計	5,473,088	5,328,369
負債・純資産合計	7,507,117	7,598,175



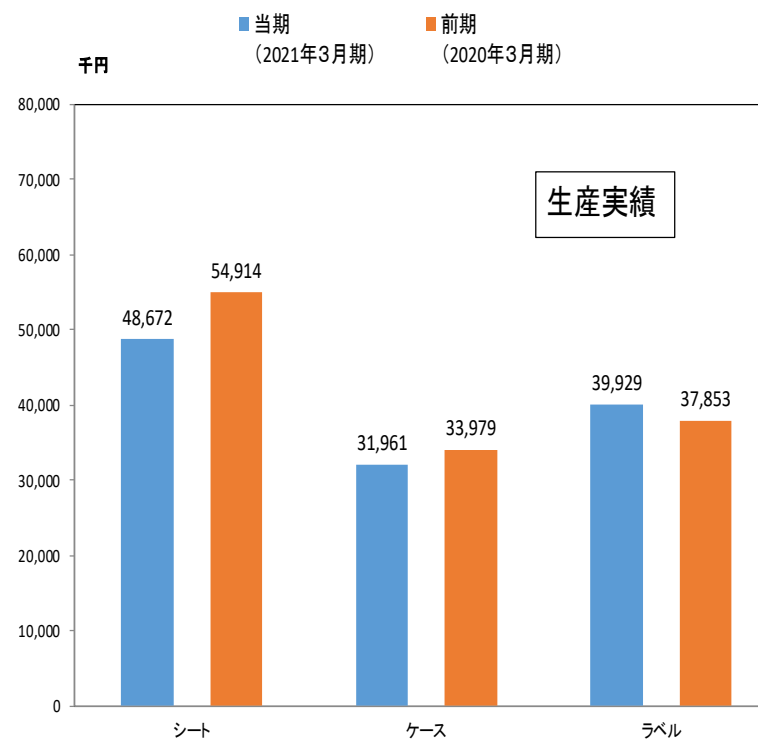
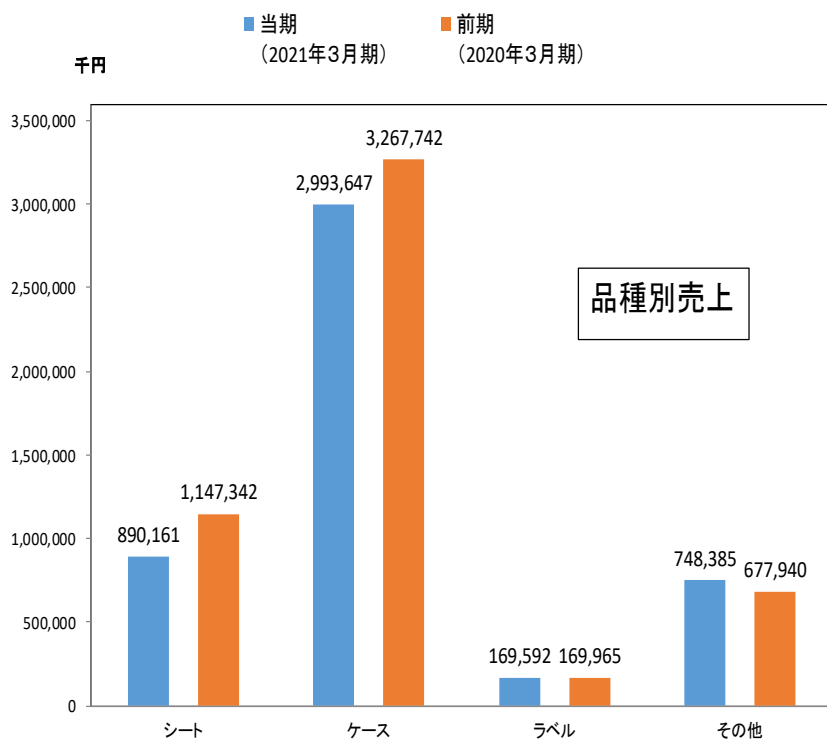
## 業績概要③

(単位: 千円)

	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	148,479	467,231
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 344,697	29,077
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 85,236	▲ 101,160
増減額(減少: ▲)	▲ 281,454	395,147
現金及び現金同等物の 期首残高	3,425,020	3,029,872
現金及び現金同等物の 期末残高	3,143,566	3,425,020



# 品種別売上高及び生産実績







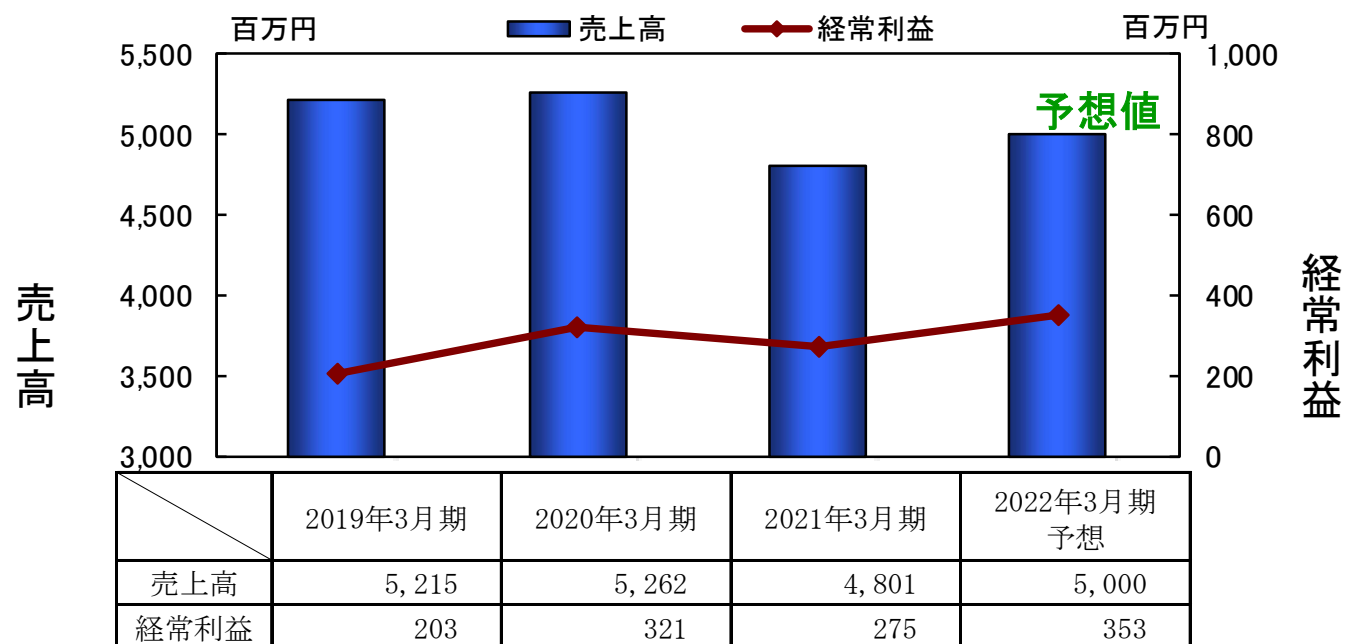
# 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の都府県を対象にした3度目の緊急事態宣言が発令される中において、感染力の強い変異ウイルスの流行も懸念され感染拡大の収束は見通せず、今後も予断を許さない状況が続くものと思われ  
ます。
- この様な状況のもと、当社は小ロット・多品種の「生産性向上工夫」をスローガンとして掲げお客様の段ボールニーズに対し、早さと的確さでいち早く答えてまいりたいと考えています。
- 当社の2022年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,000百万円(前期比4.1%増)、営業利益353百万円(同30.7%増)、経常利益353百万円(28.0同%増)及び当期純利益219百万円(同34.1%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



# 売上高および経常利益の見通し

※売上高5,000百万円(前期比4.1%増)、営業利益353百万円(同30.7%増)、経常利益353百万円(28.0同%増)及び当期純利益219百万円(同34.1%増)を計画しております。





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。